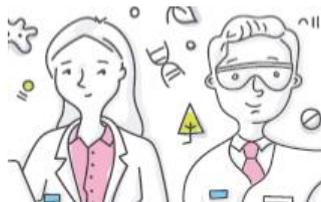


バイオインダストリー奨励賞 受賞者の声



※（一財）バイオインダストリー協会 第3回バイオインダストリー大賞・奨励賞募集ポスターより抜粋

目次

1. [受賞者の声、受賞のご感想](#)
2. [同僚や上司、周囲の反響](#)
3. [今後応募を検討している方へのメッセージ](#)

1. 受賞者の声、ご感想



・応募の準備を進める過程や、受賞式を通じて初めて BioJapan に参加させていただく中で、**何度も視野が広がる瞬間を経験**しました。**基礎研究をメインにされている先生方にこそ、この場で得られる大きな刺激がある**と感じています。

・**学会などではお会いすることがない異分野の先生方**や、普段はお話できない雲の上の先生方（審査員）とも交流、情報交換させていただける**大変貴重な機会**となりました。

・多くの方から今回の受賞に関してご連絡いただき、また受賞講演に関しても多くの方から質問、問い合わせなどいただいております。この**受賞を糧に新たな共同研究などが始まることを期待しています**。

・BioJapan でのパートナーリングシステムで**いくつかの企業からコンタクトがあり**、継続して話をおこなっていきたいです。

・**大手製薬企業からのコンタクトがあり**、先方の社内での講演会や共同研究に向けた話し合いが始まりましたので、大変有意義なきっかけになりました。

・今回の受賞者の中、自分だけがまだキャリア初期におりますので、正直の感想は嬉しい半分、恐縮半分です。でも、皆様とは違う分野なので、皆様の研究を伺い、自分にも**良い刺激をいただきました**。今回の受賞を励みに、さらに精進したい気持ちでいっぱいです。

- ・ **奨励賞の同期受賞者との新たなコネクションが生まれ**、今度は非常に楽しみです。
- ・ 研究開発自体は大きく変わりませんが、研究している内容が社会的に認められたという感覚は、**今後の自信に繋がる**と思いました。複合分野からの選定である点も良いと思います（**自分の専門分野だけでの表彰とはまた別の価値**があります）
- ・ 他の受賞者のエレガントであったり、有意義であったり、有効であったりする研究そのものに**刺激を受けた**。また、そうした**研究への産業界からの期待を見受けることができた**。自分自身の今後の取り組みの励みとしたい。
- ・ **第1回目の大賞受賞者である本庶先生がノーベル賞を受賞された**ことで、奨励賞の重みをさらに強く感じることとなりました。
- ・ **これから応用につなげていくにあたって、大きな自信**となりました。また、**企業の方々と議論を深めることで、基礎研究から応用へジャンプするための有益な議論**ができました。今回の受賞によって基礎と応用をなんとしてもつなぎたいという意識が強くなりました。
- ・ 多くの皆様からの激励を受け、より一層研究に対し真摯に取り組むことを決意いたしました。また、**他の受賞者の皆様のご研究の姿勢や戦略なども大変参考になりました**。この賞に恥じぬような研究を今後も進めていく所存です。
- ・ 授賞式では**同世代の異分野研究者と交流することができ、いろいろなアイデア**が浮かびました。
- ・ 一つでも二つでも良い研究の成果を世に発信できるよう、また**その中から少しでも社会還元できるような成果を生み出してゆきたい**という思いを改めて強くしました。
- ・ 奨励賞受賞者として、研究をさらに発展させていきたいと強く感じました。また、**審査員の先生方や他の受賞者の皆さんとお話しすることができ、今後の研究に対するモチベーション**が高まりました。
- ・ 実は今回の受賞内容の研究は、論文発表前、複数の雑誌から掲載を拒否されました。一方で、掲載してくれた科学誌のチーフエディター、および本奨励賞の審査員の先生方には本質的な部分をご理解いただいていたという実感がありました。**研究成果は、それが発表されたときにすべての人にすぐに理解されるわけではない、ということ**はよく言われることではありますが、**必ず理解してくれる人はいる、という自信を深められた**ことはよかったです。

・これまで、あまりバイオとみなされない研究内容でしたが、評価していただいたことがとても嬉しいです。まだ受賞前後で変わったことはありませんが、**BioJapan のマッチングシステム**を利用させていただいたなかで**コンタクトのあった企業の方**などとお話して、**今後に研究を発展させていきたいです。**

・ある企業から面談を賞状授与日に実施したいとコンタクトがあった。**後日、大学に来て面談し、共同研究がスタートした。**



3. 同僚や上司、周囲の反響

・ **所属機関外の方からもお祝い**の連絡があり、多くの方が着目している賞であることを改めて感じました。

・ 各所から受賞のお祝いのお言葉をかけて頂いており、**研究の信頼性向上**にもつながってきていると感じております。

・ 所属研究室の Website のアクセス数が伸び、研究所内で一桁多い一位を維持しております。総体として**注目度が上がったこと**が要因と考えられます。

・ 学内でも他の**先生方から非常によい評価**をいただくことができました。

・ 多くの方から祝福していただきました。また、とくに審査員の先生方から、基礎と応用を両方推進できる人材はそう多くはないので、**架け橋としてがんばって欲しいという激励**をいただきました。

・ 既にベンチャーを起業していますが、そちらからの**評価が高かった**です。

・ 多くの方々からお祝いのお言葉を頂きました。今回は賞の名前が変わった第一回目でしたが、これまでの流れを汲み、**非常に注目度の高い、権威ある賞**であることを実感致しました。

・ **特に産業界の方に広く受賞を知っていただき**、お祝いのお言葉をいただくことができました。

- ・製薬企業の方々から多々お祝いのご連絡を頂くことができました。
- ・研究室の所属学生のエンカレッジになりました。
- ・**研究担当理事**などから注目され、**研究活動をアピール**することができました。

4. 今後応募を検討している方へのメッセージ



- ・応募することで、**新しい展開が生まれるきっかけ**につながるかと思います。
- ・**8回応募した私の例は、アカデミアなどで苦勞している方の励みになるのではないかと**思います。**チャレンジ**が続けられるかが全てで、「**勝率**」は関係ないと思っています。
- ・ぜひ多くの**地方大学に挑戦**していただきたいと思います。
- ・**技術の社会応用を目指している人には大きな一歩**になる賞だと思います。**30代前半などの若い先生方にも挑戦**して行ってほしいです。
- ・過去の受賞者リストからも分かる通り、**多くの分野で受賞のチャンス**があるものと思います。まずは、応募のためのIDを作成し、早めに申請書を作成していただくことをお勧めします。
- ・あきらめたらそこで試合終了なので、**もし落選しても業績を積み上げて再チャレンジしてください**。(3回目の応募者より)
- ・今回上司の勧めで応募しましたが、それ以前はそれほどインダストリーに貢献している自覚がなかったこともあり応募していませんでした。ただそういう面でのしり込みはあまりよくなく、**自分の研究が現在ではなくとも将来的に産業に役立つ可能性がある、とにかくいい研究をしているのだという自負のある方は、積極的に応募を検討されたほうが良い**と感じました。
- ・私はアカデミアの研究者ですが、**企業の方との貴重なコンタクトの場**となり、その後の

共同研究などへの発展が期待されるよいきっかけになると思いますので、奮ってご応募されることをおすすめいたします。

・ **応用研究や社会貢献を志向した研究を評価して頂ける表彰制度は、それほど多くない**と思います。そのような状況で、本章は非常に意義があると思います。 **ご自身の研究がバイオ産業やバイオ社会に貢献する可能性を想像できるのであれば、ぜひ挑戦してみても良い**のではないのでしょうか。

・ **申請書も短い**ので、ぜひ応募をされると良いと思います。

・ 本賞へのチャレンジによって、 **自分の世界・研究の方向性を広げる糸口**が見つかると思います。ぜひ積極的に挑戦してください。

・ 年齢制限はありますが、 **応募回数には制限がないようですので、あきらめずに何度も応募されることをお勧めします**。落選してからが本番です。

・ コロナ禍で同世代の若手研究者の活躍を学会会場など生の現場で直接見聞きすることができにくくなってきています。一方で、日夜着実に研鑽を積んでいる若手は沢山います。 **JBA 奨励賞は、自らの可能性を試すにはうってつけの場です！** 我こそは、次代のバイオインダストリー産業を担う人材とお考えの方は是非応募されてみてはいかがでしょうか。

・ 応用出口への道筋がはっきりと見えている基礎研究をやっている方はもちろんのことですが、本当に役に立つ応用は、しっかりとした基礎研究があつてこそだと思います。これまで応用出口をあまり意識されなかった方、道筋がまだぼんやりしている方も、 **応募することで、どのように応用につなげるのか真剣に考えるいい機会**にもなりますので、積極的に応募していただけるといいと思います。

・ 私はバイオインダストリーに直接関係する研究というよりは主に基礎研究を行っていますが、 **審査員の先生方には応用展開に向けたポテンシャルを評価して頂いた**と考えています。現段階において応用研究を行っていない方も、今後の展開として可能性が考えられるのであればトライしてみてくださいはいかがでしょうか。

・ この度の受賞では、これまで行ってきた研究の価値を評価して頂いたという喜びも大きいのですが、 **受賞により研究内容を多様な分野の方々に認知して頂き、様々な切り口からのご助言を頂くことで、研究の新たな展開を見出す契機**となったことが大きな成果だと考えています。

・ 産官学や実用性の高い研究を行っている方はもちろんですが、 **全く成果は得られていないが是非そのような方面で研究を展開したい**と考えられている方も応募をおすすめしま

す。短・中・長期の様々な視点で審査の方々には評価していただけるかと思います。

・「想い」をもって「行動」すれば、必ず「出会い」があります。異分野融合が次世代のバイオインダストリーを切り拓くカギになると確信していますので、研究室を飛び出していろいろなことに是非チャレンジしましょう！

・特定の学会や財団が主催する学術賞とは異なり、バイオインダストリーに関わる国内外の様々な研究機関、特に民間企業の皆様に自身の取り組みについて知っていただく機会が得られます。共同研究の機会をお探しの方はもちろん、自身の研究について産業界の視点からの評価を聞きたいと思っておられる方にも応募をお薦めしたいです。

・産業的に価値のある成果を正當に評価していただける賞だと思います。

・本賞に応募することで、これまでの自分の研究を客観的に評価して頂けるという又とない機会を得られると考えています。また、受賞することで、これまであまり接する機会が無かった分野の研究者と出会うことができ、研究の裾野を広げる良い契機になると思います。どうせ自分には無理だと思わずに、ぜひ応募してみてください。

・バイオインダストリー奨励賞をいただけるということは、基礎科学研究だけでなく、社会への貢献に関する発展性も評価されての受賞だと考えております。ご自身の研究を大きく発展させる意味でも、ぜひ挑戦してみたいはいかがでしょうか。

(一財) バイオインダストリー協会
広報部 大賞・奨励賞事務局



バイオインダストリー奨励賞
Bioindustry Research Award